




図書館の「おはなしかい」
 中央図書館、図書館鶴瀬西分館、図書館ふじみ野分館で毎月開催されている読み聞かせイベント(P21参照)。


今月のFujimist

ひやま 檜山 美智子 さん
 (読み聞かせボランティア「あいあい」)

☎ 生涯学習課 ☎632





「絵本は思いやりの言葉で綴られている、優しさが詰まった世界。そのあたたかさを伝えられるよう、仲間同士で切磋琢磨しています」そう語るのは、市の図書館で活動する読み聞かせボランティアサークル「あいあい」で絵本の読み聞かせを行う檜山さん。

図書館が開催する「おはなしかい」や、赤ちゃんの12か月児健診時に読み聞かせと本をプレゼントする「ブックスタート」などの事業に協力している「あいあい」は、第2次富士見市子ども読書活動推進計画の一環として中央図書館が平成25年に立ち上げたボランティアサークル。お子さんが通う小学校で学校応援団の一員として読み聞かせをしていた檜山さんは、卒業とともに読み聞かせができなくなることを寂しく感じていたところ、「あいあい」の発足と会員募集のお知らせを知り、すぐに申込みをした。

活動に時間を割けず、退会を考えた時期もあったが、仲間から「あなたにしかできないことがある」と励まされ、自分なりの活動の仕方ですべてを心に決めた。今

では市の図書館協議会の副委員長も務め、市全体の図書館運営に関わっている。「読み聞かせは感情を込めずに読むのが良いという意見が多いですが、私はどうしても込めてしまいます。大切なのは作者の想いを伝えること。また、小さい子どもが対象の印象がありますが、『おはなしかい』では子どもと同じ反応をする親がたくさんいます。読み聞かせがもたらす感情の揺さぶりに年齢は関係ありません」。

動画配信サービスなどにより、外出せずとも絵も声も見聞きすることができるようになったが、檜山さんが大切にしているのは、同じ時間、同じ場所、同じ感動を共有することで得られる絆。「読み聞かせの場には、感動を共有することで人と人を結び付ける不思議なチカラがあります。ここ富士見市は市民活動が盛んで、互いが助け合っているあたたかいまち。読み聞かせを通して図書館と一緒にまちの絆づくりに貢献できたらうれしいです」。読み聞かせに対する想いを語る檜山さんの元気な声は、まるで色鮮やかな絵本の世界にいざなってくれるようだった。

<p>■市公式ホームページ</p> 	<p>■ SNS</p>   	<p>【カタログポケット】広報「富士見」を多言語で</p> <p>【マチイロ】広報「富士見」をスマートフォンで</p> <p>【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報を視聴</p>	<p>人口と世帯数(10月1日現在)</p> <p>人 □…112,382人(前月比 +79人) (男 55,261人 女 57,121人)</p> <p>世帯数…53,621世帯(前月比 +47世帯)</p>
---	--	--	---

3 すべての人に健康と福祉を

12 つくる責任 つかう責任

15 陸の豊かさも守ろう

富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。